

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. D-98

<b>部門名:</b> 校内研修プログラム 開発・実践部門	<b>エントリー名:</b> 銚田市立銚田南中学校 石神 知子 平成 30 年度第 4 回中堅教員研修
-------------------------------------	---

**活動名:**  
学校組織力向上銚南モデル  
～教科・学年協働の校内研修を通して～

**解決すべき課題:**  
主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、それぞれの学校でカリキュラムマネジメントを実現することが求められている。学校組織力を向上させ、教科・学年協働により教員同士が学び合うことを重視していく必要がある。本校では、学力向上に向けた授業改善を通して、学校組織力の向上をめざす。

**目標・方針:**  
平成 30 年度より、2 年間「道徳パイロット校事業」の指定を受けるとともに全教科にわたり、主体的な学びの実現に向けて授業改善に取り組んできた。主体的で深い学びの実現に向け、学び合う姿や発問等に課題が見られたため、育てていきたい生徒像、ゴールとなるイメージを明確化し、授業づくりを進めてきた。  
 ① 教員の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・スキルアップ  
 ② チーム学校としての学校組織力の向上

- 活動内容:**
- ① 生徒の実態把握を行い、課題を見出し共有化する。(表 1)
  - ② 課題に合わせて、全体計画や単元構成、授業の流れ等の見直しをする。(資料 1)
  - ③ 学年・教科間で授業の立案・整理・分析を行う。(期間内に学年間で相互授業参観)
  - ④ 学習指導案にそって、授業研究を行う。(写真 1, 資料 2)
  - ⑤ 授業後に振り返り、検証を行う。(KJ 法等) (写真 3・4・5, 資料 3)
  - ⑥ 学校全体で共通理解し、実践につなげる。(研究推進便り等) (資料 4)

**活動の成果:**

- ・教科をこえて対話し、指導案・発問等を共同で作成することにより、教員としての学びが深まり、互いに改善点を交換し、授業改善の効果が上がった。
- ・授業実践のスキルの獲得ができ、若手教員を育成する機会となった。
- ・教師が同じ方向を向いて取り組み、学校目標の具現化ができた。

〈教育活動に関するアンケート結果〉

質問項目	そ う 思 う	
	平成 30 年 1 月	令和 元年 7 月
学校改善プランに基づき全職員で授業改善に取り組んでおり、校内授業研究を行っている。	31%	46%

**アピールポイント (アイデアや工夫):**

- ・学年で計画・立案することで、たくさんのアイデアが生まれ、実践の質を高めることができる。
- ・教育活動を学年職員が理解し、焦点化するため、どのような手立てが効果的だったか検証ができ、改善策についても活発に議論でき、授業改善に役立った。
- ・指導案を共同立案するため、各教員の負担が軽減できる。

表 1 実態調査

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
道徳の学習は、好きだ。	2.84	3.05	3.14	3.23	3.28	3.11	3.13	3.13
道徳の授業では、自分に考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしている。	3.21	3.28	3.37	3.34	3.45	3.29	3.32	3.30
道徳の授業では、自分のこと(生き方)についてよく考えている。	3.14	3.23	3.30	3.33	3.41	3.20	3.23	3.28
もろごとく話を最後まで聞いて、うれしかったことがある。	3.41	3.53	3.55	3.54	3.74	3.65	3.55	3.57
自分には、よいところがあると思う。	2.93	2.99	2.92	3.01	3.03	2.93	2.87	2.88
授業の事や授業をもっている。	3.40	3.36	3.32	3.37	3.30	3.31	3.26	3.34
人の気持ちや分かる人間になりたいと思う。	3.65	3.69	3.77	3.75	3.84	3.69	3.74	3.71
いじめやいじめ被害にあっても、いじめないことだと思う。	3.66	3.70	3.84	3.75	3.84	3.70	3.79	3.72
学校の規則を守っている。	3.48	3.58	3.69	3.60	3.66	3.55	3.60	3.58
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	3.15	3.27	3.22	3.21	3.34	3.14	3.28	3.24
社会人になっても、課外活動やボランティアのために働くことがしたいと思う。	3.12	3.12	3.12	3.11	3.29	3.13	3.15	3.12
道徳の授業を通して、自分の心の成長を感じた。	3.23	3.23	3.21	3.18	3.18	3.18	3.18	3.21

資料 1 単元構成

写真 1 授業研究



資料 2 共同立案した指導案

相互授業参観後の検証により、中心発問を抽象的発問にすることを決定。



写真 3 授業後の検証 KJ 法



写真 4 授業後の検証



生徒の関心を高めるためのアイデアとして漫画を活用。ICT を使用。

資料 3 授業参観の仕方

資料 4 研究推進便り